

2022 春日井市民 第九演奏会



春日井市民会館

12月4日 日

入場料 1,500円 [税込・全指定席・当日券同額
未就学児入場不可]

15:00開演 (14:00開場/14:40プレトーク)



音楽監督・指揮
井村 誠貴



ソプラノ
飯田 みち代



アルト
石原 まりあ



テノール
古屋 彰久



バリトン
池田 真己

曲目／源田俊一郎編曲『ふるさとの四季』より「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」

ベートーヴェン作曲 交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱付」

管弦楽／春日井市交響楽団 合唱／春日井市民第九合唱団 合唱指導／松下 伸也・西畑 佳澄

春日井市民第九・・・新時代へ

コロナ自粛が長らく続いた日本。2020年は全国で第九演奏会が中止。奇しくもベートーヴェン生誕250年という節目の年と重なったのは残念の極みである。春日井市民第九も市民の安全を最優先に考え、開催を断念。もう二度と第九演奏会は出来ないのではないのか…とまで思えた厳しい状況が続いた。

翌21年、私達は安心・安全に演奏会を開催できる方法を出演者・スタッフ一丸となって模索し、知恵を出し合った。飛沫対策・換気の徹底・ソーシャルディスタンス。そして見出した唯一の方法として、合唱団とオーケストラの配置転換を決断。合唱団を客席前方に配置した。当然演奏面での難しさを伴った。合唱団は指揮者を直接見られない為、客席後方に大型スクリーンを配置し、指揮者映像で対応。演奏に適さない客席で歌う合唱団の響きをマイク等で補強。ソーシャルディスタンスの為、合唱団の人数を通常の半分以下に制限。これだけの厳しい条件の中でも『春日井市民第九の灯りを消さない!』という強い想いが、感動のステージへと繋がった。出演者・スタッフがこれまで以上に話し合い、結束できた事は、コロナ禍に於ける大きな副産物となった。

22年、合唱団もステージに戻り、通常の配置で演奏。それは単にコロナ前に戻すのではなく、withコロナでの第九の在り方を模索した『新時代』の幕開けでもある。『困難や壁は人をより進化させる』と私は思っている。この辛く厳しかった3年をどう未来に繋げて行くのかが大きな課題。私達は、新たに就任された石黒市長と共に、そして中部大学をはじめとする春日井を支える多くの方々と共に、『新時代・春日井市民第九』をこれからも創って行く。

音楽監督・指揮 井村 誠貴

※新型コロナウイルス感染拡大により演奏会が中止となる場合があります。最新情報は春日井市民第九演奏会ホームページをご覧ください。
※本公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で開催いたします。

主催／春日井市・春日井市教育委員会・公益財団法人かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会
共催／春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団 後援／中部大学・中日新聞社

お問い合わせ：春日井市民第九演奏会実行委員会（中部大学内）TEL0568-51-5250 春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課 TEL0568-85-6079



PROFILE

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

指揮者。大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積む。オペラレパートリーは50演目を超え、2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなど、オペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。さらにOsaka Shion Wind Orchestra(旧大阪市音楽団)、シエナ・ウィンド・オーケストラ等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。ミュージカルでは「レミゼラブル」「マイ・フェア・レディ」「ラ・カーヂュ・オ・フォール」等のロングラン公演を指揮。また、岩崎宏美や南こうせつ、夏川りみとの共演や、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5,400万円を超える義援金を届けた。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMF指揮者。関西音楽人のちから「集」代表、2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」オーケストラです。1990年に創設され、現在の団員は約60名で、毎年7月の定期演奏会と12月の第九演奏会を中心にオーケストラ活動を行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当団も定期演奏会の開催を見合わせた年もありましたが、本年は様々な対策を講じた上で30回目という節目の演奏会を開催することができました。また、前年の第九演奏会は新型コロナウイルス感染症対策のため、合唱団を客席に配置して開催しましたが、本年は舞台上でオーケストラと一緒に演奏することが出来ることとなりました。さらに、演奏会に向けての練習も、換気などに気を配りながら以前とほぼ同じような頻度で行うなど、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあると感じています。今後も予想もできないような事が起こるかもしれませんが、引き続き良い音楽をお届けできるよう努めていきたいと考えております。最後になりますが、第九演奏会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様により感謝申し上げます。

(団長 後藤 哲也)

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、1993年(平成5年)春日井市制50周年記念行事として開催された「第九演奏会」の初演を機に市民公募により結成されました。その後、毎年団員を公募し、12月に開催される市民による手作りの「第九演奏会」に向け、音楽監督、各合唱指導の先生方の熱心な指導のもと、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番第4楽章」合唱を歌い継いできました。2019年暮れから、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に広がり、2020年度の「第九演奏会」は中止となりました。2021年度は厳しい状況下にありましたが、万全の感染防止対策を施し、無事演奏会を開催することが出来ました。今年度も第九演奏会に向け、前向きに「第九」を歌い上げたいという強い気持ちを持った団員115名が、お互いに感染対策のルールを厳守し、6月より練習に励んできました。本番では、団員一体となった心からの「歓喜の歌び・歌声・叫び」を観客の皆様へ届け、「今できる、最良の第九演奏会」にしたいと思っております。最後に、第九演奏会開催に際し、いつも以上にご尽力をいただきました関係者の皆様により感謝申し上げます。これからも未永く、ご支援を賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

(団長 黒澤 清海)

ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Ida

日本を代表するソプラノ歌手。その演奏歴は枚挙の暇なく、日生劇場と東京二期会周年記念オペラ「ルル」「メデア」「アイナダマール」、びわ湖ホール周年記念オペラ「死の都」、サントリーホール周年記念オペラ「パン屋大襲撃」等数々主演、高い評価を受け公演の芸術大賞受賞に寄与。「音楽の友」誌上で世界のディーヴァベスト100に選ばれ、「陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す驚くべき才能」(音楽現代誌)と絶賛された。京都大学卒業、愛知県芸術選奨受賞他受賞多数、春日井市広報大使。

アルト 石原まりあ Maria Ishihara

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院声楽領域修了。コンセルヴァトリーオ名古屋二期会マスターコース(プロフェッショナルコース特待生)修了。小澤征爾音楽塾オペラ塾生、札幌パシフィックミュージックフェスティバル(PMF)アカデミー生。これまでに、『蝶々夫人』スズキ、『ホフマン物語』ミュージズ・ニクラウス、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ他、多数のオペラ、コンサートに出演。第20回長江杯国際音楽コンクール声楽一般部門2位。声楽を中島基晴、ビルギッタ・ノルトファルク、戸山俊樹、浜田理恵の各氏に師事。名古屋二期会準会員。春日井コンサートグループ花の詩会員。中部日本スウェーデン協会会員。栄中日文化センター「女声コーラス」講師。稲沢市社会福祉協議会後援事業「歌って健康講座」講師。

テノール 古屋 彰久 Akihisa Furuya

名古屋音楽大学声楽科首席卒業、同大学院修了。びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーとして6年間活動。退団後渡伊、イタリア・ボローニャにて研鑽を積む。シエナ、ロツツイ劇場にてヘンデル作曲「時と悟りの勝利」の「時」役でイタリア劇場デビュー。オペラでは『ウィンザーの陽気な女房たち』フェント、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『愛の妙業』ネモリーノ、『ラインの黄金』ローゲ、『ルサルカ』王子、『つばめ』ブルエなどを演じる。オラトリオでもベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、サン＝サーンス「クリスマスオラトリオ」、グノー「荘厳ミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」等、数多くのテノールソロ、典礼劇『ダニエル物語』ダニエル役を務める。これまでに松下雅人、二塚直紀、W・マッテウツツイ、ドラガン・パビック、ジュリアーナ・パンツァ、基村昌代の各氏に師事。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。

バリトン 池田 真己 Masaki Ikeda

1990年生まれ。大阪と京都の境目、大阪府島本町在住のバリトン歌手。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第37回飯塚新人音楽コンクール第2位。2017年ベートーヴェン第九交響曲日本初演の聖地、鳴門市で第九バリトンソロデビュー。これまでオペラ「ラ・ボエーム」「マルチェロ」「赤い陣羽織」代官などを演じる。2019年には日生劇場NISSAY OPERA「ヘンゼルとグレーテル」父役で東京におけるオペラデビューを飾った。2021年2月日本演奏連盟《新進演奏家育成プロジェクト》に選ばれ、ザ・シンフォニーホールにて日本センチュリー交響楽団と共演。今回は、2019年以来3年ぶり2度目の春日井市民第九演奏会への出演である。また地元では「島本ジュニアコーラスくすのきキッズ」の指導に携わり、子供たちと日々音楽を楽しんでいる。サントリー1万人の第九指導者。現在、神戸市混声合唱団団員。

●チケット販売開始 11月9日(水) 10:00~

入場料 **1,500円** [税込・全指定席・当日券同額・未就学児入場不可]

【窓口販売】

文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザ(9:30~17:15)
※月曜休館、祝休日の場合は翌平日。
春日井市東部市民センター窓口(9:30~12:00、13:00~17:00)

【Web予約】

かすがい市民文化財団ホームページ ※24時間予約受付・セブンイレブンでの受取り可
www.kasugai-bunka.jp

- ・Web会員登録が必要(無料)
- ・予約有効期間は、予約日を含む15日間です。それ以降は自動的に予約取消となりますので、ご注意ください。
- ・公演日の15日前から前日までに支払完了していないものは、予約キャンセルとみなします。
- ・第九演奏会チケットについては、代引きサービスは利用できません。
- ・車椅子席は、文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザでのみ取り扱います。

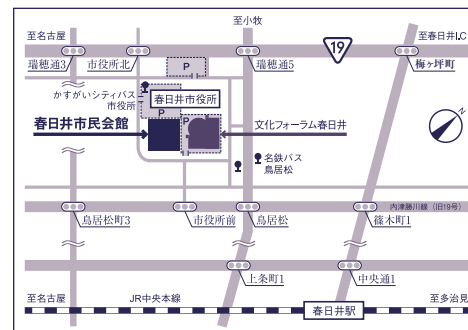
※電話予約及びチケットの取り置きは行いません。 ※1予約につき10枚まで。

※前売り券完売の場合は、当日券の販売はありません。

※開演後は、客席への入場を制限する場合があります。

●会場のご案内

春日井市民会館 〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44



交通のご案内

駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

- JR中央線「春日井駅」北口より北へ徒歩約20分または名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分
- かすがいシティバスで越越しの方「市役所」下車、南へ徒歩2分



※都合により出演者の変更になる場合があります。予めご了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い

お客様自身の安全、他のお客様の安全を守るため、特に以下の点について順守していただきますよう、お願いいたします。

発熱、体調に不安がある方は入場をお断りしています

常時マスクを着用してください

会場での手指消毒、サーマルカメラによる検温にご協力ください

分散退場にご協力ください

座席での会話や声援等は控えてください

出演者等へのプレゼント、差し入れ、面会にご遠慮ください